



鈴木金平(静物) 1930-60年代 個人蔵

中村麟の芸術の〈無限感〉に心打たれ
絵画の世界をきりひらいたふたりの芸術

鈴木金平と清水多嘉示

大正・昭和初期の東京アトリエ村を
彩った画家たち

Kinpei
Suzuki



清水多嘉示(風景) 1920-30年代 ハヶ岳美術館蔵

and

Takashi
Shimidzu

:Nakamura Tsune's
fellow painters

2025. 4/5 土 - 6/29 日 会期中無休

ハヶ岳美術館
原村歴史民俗資料館

〒391-0115 長野県諏訪郡原村17217-1611
TEL/FAX: 0266-74-2701
E-mail: info@yatsubi.com
https://yatsubi.com

主催: ハヶ岳美術館、原村、原村教育委員会
協賛: スワテック建設株式会社、諏訪信用金庫
株式会社イヅミ、たてしな自由園

開館時間 9:00 ~ 17:00
(最終入館16:30)

入館料 一般 / 高校生以上 510 円(460円) 小中学生 250 円(200円)

※ ()内は20名以上の団体料金
諏訪6市町村の小中学生無料

鈴木金平と清水多嘉示

大正・昭和初期の東京アトリエ村を
彩った画家たち 4/5(土) - 6/29(日)

赤レンガの高架と道行く人を色彩豊かな表現で描いた「有楽町附近」(東京国立近代美術館蔵)で知られる洋画家 鈴木金平(1896-1978)とその同時代の芸術家たちの絵画展を開催します。

鈴木金平は岸田劉生に師事し、白馬会美術洋画研究所で油絵を学びます。大正元(1912)年には、その卓越した画力が評価され16歳の若さで日本初の表現主義の美術運動であるヒューザン会結成に参加。のちに中村典と出会い、森岡の画家たちとともに「金塔社」の結成に参加。森の代表的著作である『芸術の無限感』(1926年刊行)を編集するなどその活動を支えました。33年には牧野虎雄らを中心とした「旺文社」の創立に参加し、戦後には再興した「旺文会」で中心メンバーとなり洋画界で活躍しました。

このたびは鈴木金平の油絵作品 約30点を中心に、白馬会研究所の仲間である終生の友となる鈴木信太郎(1893-1994)、富士見町に滞在した曾官一(1895-1989)、諏訪で教鞭をとった官芳平(1893-1971)の絵画、原村出身の清水多嘉示(1897-1981)が描いたアトリエ村のスケッチや風景絵画を展示。大正から昭和初期のアトリエ村で活躍した芸術家たちの作品をご紹介します。



- 1 鈴木金平「夏の夢」1965年 (F20) 町会出品
- 2 鈴木金平「静物」年代不詳 (F20)
- 3 鈴木金平「静物」年代不詳 (F20)
- 4 鈴木金平「静物」1930年(F20)
- 5 鈴木金平「冬の北海道」1959年(F20)
- 6 鈴木金平「静物の春」1967年(F20)
- すべて個人蔵



「金塔社」のメンバーとして活躍した金平の良友 中村典子の登場する舞台のために描かれた自画像

関連イベント

EVENT

鈴木金平(すずき きんぺい)

1. 美術講座

1. 講演会「中村典とその周辺—(無限感)の美意識で響きあう魂」

講師: 阿王 桂 (中村典会 代表)

日時: 5月3日(土) 13:30 ~ 15:00

2. 講演会「白樺と美術」

講師: 清水 淳子 (安曇野高橋節郎記念美術館 学芸員)

3. 講演会「白樺派と諏訪の芸術」

講師: 塚崎 美歩 / ハッ岳美術館 学芸員

日時: 6月14日(土) 13:30 ~ 15:00

3. 講演会「近代彫刻の巨匠たちと清水多嘉示」

講師: 武井 敏 (森山美術館 学芸員)

日時: 6月19日(木) 13:30 ~ 15:00

2. ギャラリートーク

4月26日(土)・5月5日(月・祝)

13:30 ~ 15:00

※各回とも要予約

参加費: 無料 (入館料別途)

会場: ハッ岳美術館 企画展示室

体験講座

WORKSHOP

1. もくもくと描こう! 油絵で名画ワークショップ

4月13日(日) 13:00 ~ 15:00

2. 彫刻のポーズをどって描こう! クロッキー会

5月17日(土) 13:30 ~ 15:00

※各回とも要予約

参加費: 無料 (入館料別途)

会場: ハッ岳美術館 企画展示室

1896年 三重県四日市に生まれ、東京藝術大学で学ぶ。

1911年 白馬会洋画研究所で岸田劉生に師事し、中村典や岸田劉生を知る。

1912年 第1回ヒューザン会展出品。この頃から曾官一や中村典と交流が始まり、中村典の「無限感」の出版を知る。

1921年 太平洋戦争で中村典受賞。中村典の「無限感」の出版を知る。

1923年 曾を水戸の信濃寺に埋葬。「中村典遺作展」を開催。中村典の「無限感」の出版を知る。

1926年 中村典の「無限感」の出版を知る。

1928年 曾を水戸の信濃寺に埋葬。「中村典遺作展」を開催。中村典の「無限感」の出版を知る。

1933年 「旺文社」の創立に参加。

1940年 「かすみね」の雑誌を創刊。

1949年より「美術団体連合会」(毎日新聞社主催)の作品を発表。

1966年 「中村典とその友人展」(新国立近代美術館)出品。

1978年 逝去。

バブリックコレクション

東京国立近代美術館(東京)

三重県立近代美術館(三重)

Kinpei Suzuki and Takashi Shimidzu

Nakamura Tsune's fellow painters

ハッ岳美術館 原村歴史民俗資料館

ハッ岳美術館の建物は、文化財保存会・村野藤吾の設計によるもので、日本建築家協会が賞状を受賞しました。血縁を多用したドーム型で天井はレースカーテンの縦り柄になっています。落ち着いた暖かな色合いのなかで、作品をゆっくりとご覧いただけます。

収蔵品

美術作品: 清水多嘉示(彫刻・絵画)、津金富仙(書)

考古学資料: 国指定久遠跡をはじめ、村内の遺跡から出土した縄文土器・石器等を展示

ご利用案内

開館時間: 9:00~17:00 (最終入館は16:30まで)

休館日: 年末年始、臨時休館を除き年中無休

入館料: 一般(高校生以上)510円(460円)、小中学生250円(200円)

※1回20名以上の団体料金。

諏訪市町村の小学生は図書カード、学生証などの提示により無料で入館できます。

〒391-0115 長野県諏訪郡原村17217-1611 TEL/FAX 0266-74-2701

E-mail: info@yatsubi.com https://yatsubi.com/

